

令和 4 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	28	学校名	静岡県立富士宮北高等学校	記載者	佐藤 れい子
------	----	-----	--------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	規律・礼節、規範・帰属意識を醸成し、主体的で健全な生活態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「服装・頭髪指導がしっかりしている」「マナーがよい」保護者評価が各 90%以上 ・登校指導 40 日、昼巡視 20 日を通して挨拶、声掛けの励行 ・交通事故 10 件以内 ・交通安全教室 4 月実施 ・ケイタイマナー教室 1 回実施、授業、LHR 等で生徒自らが情報モラルを考える時間の実施 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 年間連続で肯定的な評価を達成していることは素晴らしい。学校の指導方針が生徒、保護者に浸透していると思われる。 ・ 生徒が加害者となる交通事故が増えているので、更なる指導と対策をお願いしたい。 ・ 学年や教員によって指導の差が生じないように、学校全体で指導基準の確認を行うとよい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「教職員は、悩みなどの相談にのってくれる」生徒評価 90%以上 ・特別支援が必要な生徒への適切な配慮と支援の実施 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談や特別支援に対する相談等は、全職員で対応できるようにしていくとよい。 ・ ちょっとした生徒のサインを見逃さずに、早期対応を心掛けてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・行事（創立記念行事・式典等）を通じた校訓・校歌の理解・浸透 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校訓の理解や浸透は、常に管理職が生徒に投げかけることで深まっていくと思われる。 ・ 学校で様々な行事を工夫することで、自然に生徒たちに浸透していく雰囲気大切である。
イ	オンリーワン事業や探究的な学習等を通して、自ら学ぶ態度・確かな学力を定着させ、将来社会で活躍できるグローバルリーダーを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かりやすく学力が付く授業」85%以上 ・「自らの考えを表現できる生徒」60%以上 ・一日平均普通科 90 分以上、商業科 60 分以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かりやすく学力が付く授業」を考えると、やはり生徒自らが主体的に取り組むような授業形態の工夫が大切である。 ・ 学習の習慣づけが必要。昔の宮北生はもっと勉強していた。 ・ 社会人になると学びの連続である。職場に宮北出身の若い職員がいるが、事務処理能力が高く、踏ん張りがきく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ I C T を活用した授業の実施率 80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ I C T 活用は、全国的にコロナ化禍でかなり進んだと思われるが、今後も大切である。授業研究等を取り入れながら、是非とも全教科で少しずつでも取り組みを進めるように努力したい。 ・ I C T 活用は職員によっては得意不得意があるが、職員の負担にならないように進めてほしい。

		<ul style="list-style-type: none"> ・新課程における適切な観点別評価の実施 100% ・「主体的対話的で深い学びの実現に結び付く授業改善に取り組んでいる」職員評価 90%以上 ・授業公開週間を年2回以上実施 ・生徒による授業改善のためのアンケート実施 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的対話的授業」の生徒、保護者の評価が高いということは、教員が「主体的対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っている表れである。
		<ul style="list-style-type: none"> ・オンリーワン・ハイスクール事業：コンソーシアムの実施 年3回、地域と連携した関係事業の実施 10回以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・オンリーワン・ハイスクール委員会で、工夫された様々な分野の取り組みを実践できていることは素晴らしい。 ・子どもたちが様々な分野に興味関心を持つようになったことが素晴らしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探究の時間」：充実した探究学習の実施 ・充実した内容の実施に向けての検討委員会の実施 5回 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習が充実している。 ・探究学習を、3年間を見通したつながりのある計画を立てて実践していくことで、これからの社会で生きる力の育成につながると思われる。
ウ	学んだ知識や技能を実際に活用した実践的商業教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・対外的な商業活動 20名以上 ・3年の課題研究発表会の実施 ・商業科2級以上取得 95%以上、1級3種目以上取得 30%以上 ・「授業等で実践的な取組ができた」と答える生徒 70%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・商業科の検定試験等、素晴らしい結果が出ている。 ・新聞にも掲載されていたが、過去7年間で2番目の検定取得率は素晴らしい。 ・「授業で実践的な取組ができた」と生徒が感じることは素晴らしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材による講演会の実施 ・商業科体験入学会の実施 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みのように、広報活動をしっかり行うことで商業活動の目的を広めていきたい。
エ	自己理解・目的意識を高め、系統的な指導を通して個に応じた進路実現を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校外模試偏差値 50以上が1・2年で20人以上、3年で10人以上 ・「北高は生徒一人一人に応じて、計画的な進路指導が行われている。」生徒肯定評価 90%以上、保護者肯定評価 80%以上 ・「進路決定先満足度」3年生肯定評価 95%以上 	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・進路決定満足度が86%と高いのは、コロナ禍の規制がある中でも個々への進路指導がしっかりと行われていたからである。 ・本人の希望を大切にしながら個別の進路面接を進めることが、継続的な学習につながる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路意識を向上させるため、学期に2回以上自らの行動を記録させ、学期に1回程度内容を振り返ることで、その後の行動が主体的で意識的になること。 ・「学びの基礎診断」としての測定ツールを活用し、進路指導に活用する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に進路に対する自分の意識の変化をしっかりと記録させることで、生徒自身の振り返りや今後の主体的な取り組みにつながっていくと思われる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい入試に対する情報を収集し、学年等で検討会を実施し、進路指導に活用する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・模試分析、入試研究会等での研修をしっかりと行うことで、入試対応能力を生徒に浸透させていきたい。
オ	多様な活動への参加を通して、自己有用感・達成感、豊かな人間性、共生意識、社会的資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「充実した部活動により人間性が高められた」と答える生徒85%以上 ・ボランティア活動に参加50%以上 ・生徒会を中心としたボランティアの参加4回以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の結果報告にもあるように、多くの部活で成果が上がっている。文武両道が、数値以上にしっかりとできていた。 ・外部コーチの活用ができています。 ・個人のボランティア参加は、コロナ禍の中においては難しいことが多い。
		<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を時間通り始めているクラス100% ・奨励図書を生徒公募、ビブリアバトル活動の継続 ・図書貸出各クラス100冊以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の時間をしっかりと設けることは「主体的対話的で深い学びの実現」につながる。授業との連携も視野に置きたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は清掃や整頓がきちんと行われていてキレイである」職員評価70%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地が広いと、清掃が隅々まで行き届くことはなかなか難しいが、かなりきれいになっている。職員の評価が低いのは仕方がない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・分校との交流20回以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・分校との交流を20回以上行えたことは素晴らしい。 ・分校との交流ができる環境であることだけで、学校、生徒にとっては大きな財産となっている。
カ	外部諸機関・地域との連携や積極的な広報活動を通して、開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修体制：教職員向け校内研修2回以上 ・生徒の地域防災参加60%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で制限があったため、生徒の地域防災参加率が低いことは仕方がない。 ・来年度は、地域との交流ができるような方法を考えたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・一日体験入学アンケート、満足度70%以上 ・魅力的な体験入学および公開授業の実施 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体験入学のやり方等を検討して実施した結果、良い結果が出ている。中学生、保護者ともに満足度95%以上は素晴らしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な広報資料の作成と中学校訪問年3回の実施による志願者の確保 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内や学校紹介ビデオは大変わかりやすいものであった。体験授業も工夫されていて良かった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・月4回以上のホームページの更新 ・PTA、学校後援会及び同窓会との連携強化 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新が年間206回(2/16現在)で、ほぼ毎日更新であったことはすごい。 ・宮北高について知りたいことや興味深いことがホームページにアップされていて良かった。 ・インスタグラム、ツイッター等のSNSとの併用も検討してみてもどうか。世代によりキャッチできるものが異なる。

キ	教育活動を推進していくために必要な校内研修を実施し、教員の資質向上を図り、安全で信頼される学校づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修参加 95%以上、満足度 80%以上 ・事例研究、グループ研修を年3回以上実施 ・校外研修を報告することで情報共有 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修が充実して行われ、内容も工夫されたものであった。 ・教職員の多忙化にならないように配慮してもらいたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス委員会を年3回開催し、職場環境や教職員の勤務状況を把握して適切に対応 ・コンプライアンス通信を配布し注意喚起 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修が充実している。 ・多くの職員がいる中でセクハラや体罰等が皆無だった点は素晴らしい。職員全体の意識づけができているからである。
		<ul style="list-style-type: none"> ・各教室への消毒設置 100% ・マスク着用 100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが収束してきたとはいえ、今後とも感染対策をしっかりと行っていただきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・監査等における指摘事項0件 ・光熱水費の使用量節減による学校運営に係る予算の確保 ・施設設備安全点検月1回以上により事故発生0件 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・これだけの規模の学校で、監査、会計検査等の指摘事項が0件だったことは素晴らしい。 ・少ない予算の中でやりくりの努力の様子がうかがえる。 ・今後も、安全、安心な学校環境づくりをお願いしたい。
ク	教職員の多忙化解消に向け、「業務改善」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの結果が県平均より良好 ・職員会議は協議事項の意見交換を主として、連絡事項は分かりやすい資料の配布で簡略化 ・業務のデータを活用した効率的な業務の実施、次の担当者のために業務のマニュアル化 ・定期テスト監督の平準化 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい実践により、素敵な学校になっている。一方で教職員の多忙化が気になる。仕事量を考え、一生懸命取り組む教職員をサポートしてほしい。 ・教職員は「常に多忙だ」と思っていると思われるが、学校が楽しければ多忙感は緩和される。管理職には是非とも、教職員が楽しく仕事ができる雰囲気づくりをお願いしたい。 ・教職員が年休を気持ちよく取れる雰囲気づくりも大切である。